

計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

近年、世界の食料需給の変動、地球温暖化の進行、物価高騰や国内人口の減少など、農林水産業をとりまく様々な情勢の変化を踏まえた持続可能な農林水産業の振興が求められており、国では、これらの情勢の変化を踏まえ、食料・農業・農村基本法が見直され、令和6年に改正法が成立しました。

本県は、温暖な気候と首都圏に位置する恵まれた立地条件や農林漁業者の高い技術に支えられた全国屈指の農林水産県です。本県においても、国の政策動向を注視しつつ、実効性のある振興施策の実施により、農林漁業者の所得向上と農山漁村の活性化を図ることを目的として、新たな農林水産業振興計画を策定します。

2 計画の性格

本計画は、千葉県総合計画を上位計画とし、本県農林水産業における10年後の目指す姿を示すとともに、その実現に向けた具体的な取組を定めます。

3 計画期間

令和8年度から令和11年度（4年間）

本県の農林水産業を取り巻く環境の変化

- | | | |
|------------|--------------|-----------------|
| ■ 農林漁業者の減少 | ■ 環境変動(温暖化等) | ■ スマート技術の進展 |
| ■ 耕地面積の減少 | ■ 食料安全保障の確保 | ■ 成田空港の拡張事業 |
| ■ 生産コストの上昇 | ■ 消費行動の変化 | ■ 広域道路ネットワークの充実 |

【この先10年を見据えた中での課題】

- 農林漁業者が減少する中においても産業としての機能を維持・発展させるための体制構築
- 農山漁村の活性化を図るため、地域の農林水産業に多様な人材が関わる機会の創出や地域資源の活用による地域ぐるみでの取組推進
- 頻発する大規模自然災害や高病原性鳥インフルエンザ等の家畜疾病など、農林水産業の持続性を脅かすリスクへの対応

基本方針

1 目指す姿

千葉県総合計画では、「～千葉の未来をともに創る～『県民を守り、支え、そして飛躍する千葉の実現』」を基本理念に掲げ、おおむね10年後を見据えて本県が目指す姿を示しています。本計画では、この目指す姿の実現に向け、各種施策を展開し、農林漁業者の所得向上を図ります。

2 基本目標 (仮)稼げる農林水産業の実現と農山漁村の活性化

3 構成のポイント

- 農林水産業を維持・発展させるための「ひとづくり」「ものづくり」を重点化
- 地域資源をフル活用した農山漁村の活性化の推進【基本施策Ⅳ】
- 頻発する災害や家畜伝染病等への危機管理体制のさらなる強化【基本施策V】

4 数値目標

目標項目	現状値	目標値(暫定)
農業産出額	4,029億円(R5)	4,200億円(R11)
県内漁港水揚金額	443億円(R4)	450億円(R11)
農業・漁業生産関連事業の年間販売額	790億円(R元-5平均)※	860億円(R11)
【新】農業経営体当たり生産農業所得	380万円(R3-5平均)※	500万円(R11)
【新】漁業経営体当たり漁業所得	514万円(R元-5平均)※	540万円(R11)

※ 指標の「現状値」
は記載年度の平均値

基本施策（主な取組）

I 次世代を担う人材の確保・育成

- 農林水産業所得の向上と労働力の確保に向け、生産者の経営管理能力の向上等を支援し、千葉県農林水産業をけん引する経営体を育成
- 新規就農者・漁業就業者の確保から定着までの体系的な支援や企業による農水産業参入を促進
- 地域農業を支える集落営農組織の育成や中小規模農家の経営支援
- 高性能林業機械の活用や従事者の定着率向上等による林業事業体の経営基盤強化と新たな事業体の確保

II 農林水産業の成長力の強化

- 革新的な技術導入やそれに対応した基盤整備の推進等によるスマート農林水産業の加速化
- 共同利用施設の整備等による産地の生産流通体制の充実・強化
- ほ場の大区画化等による生産性向上と農業用排水施設の機能保全対策による持続的な農業の実現
- 地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化と、農地の有効利用に向けた荒廃農地対策
- 県産飼料の安定確保や高能力な家畜の導入、作業の外部化等による畜産経営の体質強化
- 持続的な水産業に向けた水産資源管理の着実な実施や流通機能の強化による価格形成力の向上、漁港施設の整備・長寿命化などの取組を推進
- 有機農業や薬場の保全など環境負荷低減の取組や耕畜連携による資源循環型農業、環境変動に適応する取組を推進
- 森林整備の促進や森林環境譲与税の活用による森林資源の循環を推進
- 農林水産業の成長産業化を目指した試験研究を推進

III 需要を捉えた販売力の強化と輸出促進

- 市場動向を捉えた産地体制の強化
- 「千葉県の顔」となる品目を核としたブランディング強化と多様な販売チャネルの開拓
- 県オリジナル品種をはじめとした特徴ある商品の認知度向上や料理を通じた県産農林水産物の魅力発信を展開
- 地産地消や食育の推進、地域資源を活用した商品開発や販路開拓を支援
- 輸出に係る生産・流通・販売の各段階における支援、成田市場・成田空港を活用した県産農林水産物の輸出促進

IV 地域の特色を生かした農山漁村の活性化

- 都市と農山漁村の交流促進により関係人口の拡大を図り、農山漁村を支える活力の創出を促進
- 農山漁村がもつ多面的機能を維持・発揮するための体制を強化
- 関係者が一体となった有害鳥獣対策の展開と「房総ジビエ」の普及・利用拡大
- 海業の推進等、地域資源（もの・ひと）を活用した所得向上等と地域の活性化

V 災害等への危機管理強化

- セーフティネットの加入促進や事業継続計画(BCP)の策定推進により経営リスクを軽減
- 飼養衛生管理基準の遵守徹底等による家畜防疫体制や、発生予防と効果的な防除による有害動植物対策の強化
- 農林水産業関連施設・インフラや森林の整備、農山漁村の防災・減災対策による自然災害リスクへの対応
- 災害発生時に迅速な対応を行うための危機管理体制の強化

部門別戦略

基本目標の達成に向け、4年間の計画期間内に効果的かつ集中的に展開する施策を、園芸、農産、畜産、森林・林業、水産の5部門において「戦略」として打ち出し、着実な推進を図ります。

森林・林業部門戦略

～災害に強い森林づくりと森林資源の循環の推進～

現状と課題

- ◆頻発する台風や集中豪雨による土砂災害及び森林被害、大規模地震の発生リスクの高まり
⇒ 山地災害等から県民の生命・財産を守り、社会機能を維持するため、森林の防災・減災対策や災害発生時の早期復旧が必要
- ◆県内人工林の高齢林化及び未整備による荒廃化、担い手不足や機械化の遅れ等による事業体の経営基盤の弱体化により、森林資源の循環利用が進んでいない。 ⇒ 森林資源の循環の推進を図るため、適切な森林整備の促進や県産木材の利用促進に係る取組みが必要

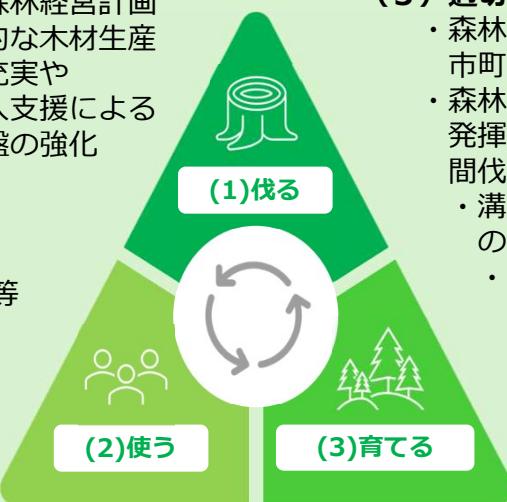
主な取組

1 災害に強い森林づくり

- (1) 治山施設等の整備推進**
 - ・山腹崩壊や土砂流出等の山地災害を防止・軽減する山地災害対策の推進
 - ・津波被害の軽減効果等を持つ海岸県有保安林の整備・再生の推進
- (2) 被害森林の整備・再生**
 - ・被害森林の整備や道路・電線等の重要インフラ施設周辺における風倒木被害等の未然防止対策につながる森林整備の促進
- (3) 森林の適正な利用**
 - ・森林の開発等に当たっては、林地開発及び保安林制度の適正な執行により、災害の防備や環境の保全等の森林の有する公益的機能を維持

2 森林資源の循環の推進～伐って、使って、また育てる～

- (1) 計画的な木材生産と人材育成**
 - ・林業事業体等における森林経営計画制度の活用による計画的な木材生産
 - ・就業者育成等の支援の充実や高性能林業機械等の導入支援による林業事業体等の経営基盤の強化
- (2) 県産木材の利用促進**
 - ・公共建築物、民間建築物等への県産木材の利用促進
 - ・建築物木材利用促進協定制度の活用による建築物一般における木材利用の取組の促進
- (3) 適切な森林整備の促進**
 - ・森林環境譲与税等を活用した市町村主体の森林整備の促進
 - ・森林のCO₂吸収機能を発揮させるための間伐等の推進
 - ・溝腐れ病等の病害虫対策の推進
 - ・地域住民や企業、市民活動団体等による森林整備活動への支援
 - ・県民の森の整備等による森林との触れ合いの場の創出



目指す姿

- ◆治山施設の整備、被害森林の再生、森林の適正な利用等により、台風や豪雨、津波などの災害に強い森林が整備されている。
- ◆「伐って、使って、また育てる」の森林資源の循環利用の推進により、森林整備・木材の利活用が活発に行われ、森林の持つ多面的機能が適切に発揮されている。

数値目標

検討中

地域振興施策

～地域の未来をデザインする、新しい交流のカタチ～

現状と課題

- ◆人口減少と高齢化の影響による農山漁村における集落機能の低下と手入れ不足の森林や荒廃農地の増加 ⇒ 地域を維持するための人材の確保が必要
- ◆有害鳥獣被害（R6約3億6千万円）による生産意欲の減退や耕作放棄等の地域環境の悪化 ⇒ 有害鳥獣に係る総合的な取組が必要
- ◆耕地面積の約3割を占める中山間地域において、特に上記の影響が顕著 ⇒ 中山間地域の特性を踏まえた緊急かつ持続可能な取組が必要

主な取組

1 農山村を支える活力の創出

● 地域資源の高付加価値化の推進

- ・千葉県ならではの新商品開発
- ・観光農園、農家レストラン
- ・企業誘致、企業との連携、農村の雇用確保

● 有害鳥獣対策・利用拡大

- ・地域ぐるみで有害鳥獣対策を展開
- ・房総ジビ工等の普及・利用拡大

● 都市と農山村の交流促進

- ・直売所や体験施設をハブとしたアグリツーリズム
- ・農泊に取り組む地域のブランディングとポテンシャル発掘
- ・異業種との交流、連携、新事業の創出（イノベーション推進）

● 森林との触れ合いの場の創出

- ・県民の森、教育の森の活用
- ・森林環境教育等の推進

地域経済の活性化

地域の文化・魅力の発信

多様な役割の維持・発展

● 持続可能な発展

● 交流・観光

● 多様な役割

● 農業・農村の有する多面的機能の発揮の支援

- ・荒廃農地の発生防止、解消
- ・地域の共同活動の体制強化
- ・森林整備活動の促進

● 農業・農村を支える多様な連携を支援

- ・多様な担い手の営農支援
- ・作業の外部委託等による労働力確保を支援
- ・集落営農組織の育成支援

● 都市農業の持続的発展と理解醸成

- ・地域環境に配慮した農業の推進
- ・市民農園の設置促進

2 海業の推進等による海辺と水辺の活性化

● 漁村における地域資源の価値や魅力を生かした「海業」の取組推進

- ・地域の海業推進事業計画の支援
- ・漁港機能の有効活用への支援
- ・水産物の付加価値向上
- ・全国豊かな海づくり大会の開催（令和9年度開催）

● 水産業・漁村の有する多面的機能の発揮の支援

- ・藻場・干潟等の保全活動への支援
- ・漁業と洋上風力発電等との共生
- ・内水面の環境・生態系保全活動への支援

目指す姿

- ◆豊かな自然環境や文化等の魅力を発信・観光との連携・都市と農山漁村の交流を深める等の取組により、地域を活気づける
- ◆農山漁村の多様な役割を守るために、地域の共同活動を支援し、サステナブルなコミュニティを実現
- ◆多様な経営体の所得確保に向けて、地域特性を生かした取組の支援などにより、地域資源の価値を高める
- ◆有害鳥獣による被害を防ぐため、農地や森林の管理を支援し、捕獲した鳥獣を有効に活用

数値目標

検討中

千葉県総合計画～千葉の未来をともに創る～（概要）

第1編 計画策定の基本的な考え方

策定の趣旨 …頻発化・激甚化する災害や人口減少社会の到来等、喫緊の課題に対応し、県民の命とくらしを守るとともに、「空」「海」などの魅力を磨き上げ、誰もが社会に参加・活躍し、豊かなライフスタイルを実現できる県づくりを加速していくため、新たな総合計画を策定する

計画の性格 …県政の基本的な方向を総合的・体系的にまとめた、県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画

計画の期間 …基本構想編：計画策定期を起点におおむね10年後を見据えた課題意識と千葉県が目指す姿を示す

・実施計画編：基本構想編を踏まえ、令和7～10年度までの4年間で重点的に実施する施策・取組等を示す

第2編 基本構想編

第1章 千葉の新たな飛躍に向けた6つのチャレンジ

本県を取り巻く状況や課題が変化する中、直面するピンチをチャンスに転換し、県民の命とくらしを守るとともに、本県の更なる飛躍に向け、「空」「海」「里」そして「まち」「ひと」などの力を結集し、チャンスをより大きな成果に結びつけていくとの考え方の下、県として取り組むべき課題を「6つのチャレンジ」として整理した。

（1）頻発化・激甚化する大規模災害等に備えた危機管理体制の強化と新たな犯罪形態への対応

これまでの災害の経験を生かし、「防災対策には終わりがない」との認識の下、市町村や事業者等との連携強化、流域治水対策、災害に強い道路の整備、孤立集落対策等により災害に強い千葉県づくりを進めるとともに、新興感染症の拡大に備えた対応力の強化、匿名・流動型犯罪グループなど新たな犯罪形態への対応など防犯対策の推進、未だ後を絶たない飲酒運転の根絶等に取り組むことが必要。

（2）本格的な人口減少社会への対応

急激な人口減少を緩やかにするとともに、将来にわたり県の活力を維持・向上させるため、県民一人ひとりの選択を尊重しつつ、結婚・妊娠・出産・子育て等の希望をかなえる環境づくりや、移住・二地域居住の促進、地域公共交通の維持・確保等が必要。また、持続可能な地域経済の確立に向け、京葉臨海コンビナートの国際競争力強化や、中小企業の支援・スタートアップの育成、農林水産業をはじめ様々な分野での人材確保対策等が必要。

（3）成田空港の拡張事業等に伴う波及効果の最大化

「第二の開港」とも言うべき成田空港の拡張事業や、圏央道の県内区間全線開通等により本県の拠点性がさらに高まることを踏まえ、新たな産業用地の確保や企業誘致、国際的な産業拠点の形成を図るとともに、更なる増加が見込まれる観光客の広域周遊の促進や道路ネットワークの充実強化等を進め、国内外からの「人・モノ・財」の流れを創出し、県全体に効果を波及させることが必要。

（4）超高齢化時代における医療・福祉・介護ニーズの高まりへの対応

高齢化が進行する中、生涯現役社会の実現に向け健康寿命の延伸を図るとともに、増加する医療等のニーズに対応するため、医療・福祉・介護サービスの提供体制の整備、人材の確保・育成と生産性の向上等が必要。また、複雑化・多様化する問題を一人で抱えざるを得ず、支援を必要とする人が増えているため、一人ひとりの事情に応じた伴走型福祉の充実が必要。

（5）多様性を活力とし、誰もが活躍できる社会づくり

社会環境の変化に的確に対応するためには、多様性がもたらす活力や創造性が重要であるため、県政のあらゆる分野で多様性尊重の考え方を踏まえた施策を推進するとともに、全ての県民が、その人らしく活躍することのできる環境づくりを進めることが必要。また、今後も増加が見込まれる外国人の活躍を促進するとともに、多文化共生社会の実現に向けた取組を充実させていくことが必要。

（6）独自の自然・文化を生かした魅力の発信と千葉に向かう人の流れの創出

本県が有する空・海・里など様々な魅力を磨き上げ、戦略的に発信することにより、本県に向かう人の流れの創出や、県民の誇り・愛着の醸成につなげていくことが必要。また、県民の活力向上や地域の活性化に向け、本県の特徴・歴史を生かした文化・スポーツの振興に取り組むとともに、持続可能な環境づくりに向け、カーボンニュートラルの実現や豊かな自然環境の保全・継承等に取り組むことが必要。

第2章 千葉県が目指す姿

基本理念

～千葉の未来をともに創る～「県民を守り、支え、そして飛躍する千葉の実現」

基本目標

I 危機管理
危機管理体制の構築と安全の確保

II 産業・社会資本
千葉経済圏の確立と社会資本の整備

III 医療・福祉
超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実

IV こども・若者
こども・若者の可能性を広げる千葉の確立

V 共生
誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現

VI 自然・文化
独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

県づくりの方向性…地域の特性・地理的条件等を踏まえた6ゾーン（東葛・湾岸、印旛・香取・東総、九十九里、南房総・外房、内房）を設定し、各地域の活性化に向けた取組の方向性を示す

第3編 実施計画編

第1章 重点的な施策・取組

基本目標I 危機管理体制の構築と安全の確保

- 1 危機管理体制の構築と「防災県・千葉」の確立
- 2 くらしの安全・安心の確保

・主な取組に、「半島性を踏まえた防災対策」「防災DXの推進」「平時と災害時を一体として捉えた防災対策の推進」「地域防犯力の向上」「飲酒運転の根絶」を新設

基本目標II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

- 1 経済の活性化と更なる飛躍
- 2 稼げる農林水産業の推進
- 3 社会資本の充実とまちづくり

・施策項目に、「新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進」を新設
・主な取組に、「空港の拡張事業等に伴う波及効果による県経済の活性化」「中小企業等のDXの推進」「農林水産業の多様な担い手の確保」「持続可能な畜産業の実現」「地域公共交通のリ・デザインの推進」等を新設

基本目標III 超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実

- 1 医療提供体制の充実と健康寿命の延伸
- 2 高齢者福祉と障害者福祉の充実

・主な取組に、「医療分野のデジタル化の推進」「県立保健医療大学の機能強化」「介護現場の生産性向上の推進」等を新設

基本目標IV こども・若者の可能性を広げる千葉の確立

- 1 こども・若者施策の充実
- 2 教育施策の充実

・主な取組に、「こども・若者の権利尊重と社会参画の促進」「若者の出会いや仲間づくりの支援」「ライフデザインの構築と結婚の希望をかなえるための支援」「教育DXの推進」を新設

基本目標V 誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現

- 1 多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現
- 2 連携・協働による社会づくり

・主な取組に、「ダイバーシティの普及・啓発」「性的マイノリティの生きづらさの解消」「外国人の活躍支援」「自立支援体制の整備」を新設

基本目標VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

- 1 脱炭素化と循環経済の推進
- 2 環境の保全と豊かな自然との共生
- 3 千葉の魅力の向上と活用
- 4 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

・主な取組に、「脱炭素型ライフスタイルへの転換」「多様な発酵文化・産業を通じた本県の魅力発信」「スポーツによる地域づくりの推進」を新設

第2章 行政経営の基本的視点

多様化・複雑化する課題に、迅速かつ的確に対応するため、県行政を「経営する」という観点から、本計画を効果的・効率的に推進するための基本的な視点を掲げた。

- ・市町村との連携強化…県政運営の土台となる徹底した現場主義
- ・県民や民間等との協働・共創…開かれたコミュニケーションによるオール千葉県の力の結集
- ・DXの推進…県民サービスの向上や効率的な行政の実現、様々な課題の解決に向けたデジタル技術の活用
- ・時代の変化に対応した行政組織への変革…機能的で弾力性のある組織運用、行財政改革、地方分権の推進
- ・SDGsの推進…総合計画に掲げる施策・取組の着実な推進によるSDGsの推進

第3章 実施計画の政策評価

・社会目標として、「成田空港の輸出入総額」、「農業経営体当たりの生産農業所得」、「65歳の平均自立期間」、「放課後児童クラブの待機児童数」等を新設
EBPMの手法を踏まえた分析・検証とPDCAサイクルに基づく施策の改善・着実な実行を図ることとし、4年間で実現を目指すべき89項目の社会目標（具体的な数値目標）を設定

県づくりの方向性

本県は、東京と隣接している地域、工業が発達している地域、海や山など豊かな自然を有している地域など、様々な表情を持っており、各地域を取り巻く状況は一律ではないことから、それぞれの地域の実情に応じた対応が求められている。

こうした中、今後は成田空港の拡張事業や、圏央道や北千葉道路等をはじめとする高規格道路の整備進展により生み出される「人・モノ・財」の流れを一層大きくし、各地域の産業振興、魅力あるまちづくりの推進、移住・二地域居住、定住、関係人口の増加などにつなげ、県全体の活性化を図り、県内外から求められる千葉を実現する必要がある。

このため、各地域が持つ特性を把握した上で、共通する特性や可能性を持つ地域を大きくくくりとして6つのゾーンを設定し、それぞれの特性や強みを踏まえ、地域の活性化に向けた取組の方向性を示すこととした。

千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市等を中心とした地域

東葛・湾岸ゾーン

成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町及び栄町等を中心とした地域

印旛ゾーン

銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町及び東庄町等を中心とした地域

香取・東総ゾーン

木更津市、市原市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市等を中心とした地域

内房ゾーン

九十九里ゾーン

茂原市、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町及び長南町等を中心とした地域

南房総・外房ゾーン

館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町及び鋸南町等を中心とした地域

○東葛・湾岸ゾーン

『多様な産業と都市機能の一層の充実を図り、首都圏での都市間競争における更なる優位性向上を図る』

- ・東京への通勤・通学者が多く、人口密度も高いことから、災害発生時における帰宅困難者対策や広域避難等に加え、新興感染症発生時には迅速な対応が求められるため、各市と連携した対策を推進する
- ・理工系大学や学術・研究機関、優れた技術を有する企業などの集積を生かした産学官連携の取組による産業振興を図るほか、幕張新都心では、これまで培ってきたM I C E 機能や業務、学術・研究機関を生かし、国内外でのブランドイメージの向上を図る
- ・人・モノの流れのボトルネックとなる慢性的な交通渋滞を解消するため、北千葉道路の整備促進や新湾岸道路の計画の具体化、広域的な幹線道路ネットワークへのアクセス道路を含む国県道全体の円滑化に向けた現道拡幅や、バイパス整備、県境橋りょう等の道路整備を加速していく
- ・首都圏各都市や空港とのアクセスの向上を生かし、企業等の活動を支援するとともに地域の魅力を磨き上げ、首都圏での都市間競争における更なる優位性の向上を図る

○香取・東総ゾーン

『農林水産業の产地機能の更なる強化を図るとともに、成田空港、北関東・東北方面とのつながりを生かし、多様な産業展開を図る』

- ・基幹産業である農林水産業では、経営体の強化を図るとともに、新鮮で多種多様な農林水産物の高付加価値化の促進と成田市場を活用した海外輸出による販路の拡大を促進する
- ・インターチェンジ周辺等において、市町と連携して地域振興につながる産業の受け皿づくりを促進する
- ・利根川や里山等の自然景観、伝統ある発酵文化、佐原の町並み等の地域資源を保存・継承するとともに、これらを生かした観光プロモーションを推進する
- ・多様な産業展開と、豊かな自然、多彩な食文化といった地域の魅力を発信し、移住・二地域居住の促進を図る
- ・成田空港の拡張事業や広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化を契機に、農林水産業や観光業の更なる振興を図るとともに、洋上風力発電事業の進展などにより、新たな雇用を創出し、地域振興を図る

○南房総・外房ゾーン

『海と緑に囲まれた自然環境や多様なライフスタイルの魅力を発信し、観光や移住・二地域居住などを促進することで地域振興を図る』

- ・房総半島の南に位置し、災害発生時には交通遮断による孤立集落が発生する恐れがあることから、緊急輸送道路ネットワークの充実や食糧備蓄などの対策を強化する
- ・海や里山などの魅力的な自然環境などを発信するとともに、外国人観光客の来訪も意識したプロモーションを推進し、成田空港や羽田空港からの更なる誘客を促進する
- ・豊かな自然や趣味を満喫できる暮らしや、自然の中での子育てなど様々なライフスタイルを実現できる魅力と、都心への通勤圏であることを積極的に発信し、幅広い世代の移住・二地域居住の促進を図る
- ・6次産業化等に取り組む農林漁業者への支援による農山漁村の活性化や、捕獲した有害鳥獣を地域資源として活用する取組を支援する
- ・空き公共施設等の地域資源の活用などによる雇用創出を図るとともに、豊かな自然環境等の魅力の発信により地域振興を図る

○印旛ゾーン

『成田空港の拡張事業等を生かしたまちづくりや空港を核とした国際的な産業拠点の形成などを行い、更なる地域の発展を図る』

- ・空港の拡張事業、広域的な幹線道路ネットワークの整備促進等を活用し、「人・モノ・財」の流れを取り込み、地域の活性化を図る
- ・インターチェンジ周辺等において、市町と連携して地域振興につながる産業の受け皿づくりを促進する
- ・千葉ニュータウン周辺地域では、多様な産業集積の場としての魅力が高まっていることから、高付加価値を生み出す企業立地の促進により雇用の創出を図る
- ・東京への通勤圏でありながら、水辺・里山などの豊かな自然環境を有する魅力や、成田空港の拡張事業等による雇用増などを積極的に発信することにより、様々な人を地域に呼び込む
- ・日本遺産等の歴史的資源の保存・継承・活用などにより、外国人観光客も意識した観光地づくりに取り組み、更なる誘客を図る

○九十九里ゾーン

『圏央道整備効果を様々な産業活動に取り込むとともに、各種産業の連携や「九十九里」のブランド化を進め、地域振興を図る』

- ・圏央道や銚子連絡道路、長生グリーンラインなどの整備効果を生かし、各種産業活動の促進を図る
- ・インターチェンジ周辺等において、市町村と連携して地域振興につながる産業の受け皿づくりを促進する
- ・観光業では、魅力的な自然環境をはじめ、農作物の収穫やマリンスポーツなどの体験型観光などによる国内外からの受入体制の強化を図る
- ・主要産業である農林水産業の更なる発展を図るとともに、豊かな自然と多方面への良好なアクセスを生かし、新たなライフスタイルを求める人を引き付ける地域づくりによる移住・二地域居住の促進を図る
- ・成田空港の拡張事業や広域的な幹線道路ネットワークの整備進展の効果を活用し、魅力ある地域づくりに取り組むとともに、農林水産業や観光業など各種産業の連携による地域振興を図る

○内房ゾーン

『道路網を介した他地域との交流機能を生かし、幅広い産業を活用した地域振興を図る』

- ・広域的な幹線道路が集まるアクアライン着岸地においては、アクセスの優位性を生かし、雇用・居住の場としての役割の向上を図る
- ・東京湾臨海部の工業地域において、企業間連携の促進や国への規制緩和の働きかけを通じ、カーボンニュートラルの実現に向けた企業の事業環境の向上を図る
- ・インターチェンジ周辺等において、市町と連携して地域振興につながる産業の受け皿づくりを促進する
- ・海ほたるや大型商業施設、自然を生かした観光施設などの多彩な魅力を発信することにより、様々な人を地域に呼び込む
- ・広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化や、企業誘致の推進、京葉臨海コンビナートの国際競争力強化などに取り組むことにより、地域の持つポテンシャルを最大限に生かした振興を図る

第3編 実施計画編 第1章 重点的な施策・取組

基本目標(6)	政策分野(15)	施策項目(41)	主な取組(200)	基本目標(6)	政策分野(15)	施策項目(41)	主な取組(200)
I 危機管理体制の構築と安全の確保	1 危機管理体制の構築と「防災県・千葉」の確立	①激甚化する災害への対応力強化	○防災連携体制の充実強化 ○半島性を踏まえた防災対策の推進 ○消防・救急救助体制の充実強化 ○防災DXの推進 ○平時と災害時を一体として捉えた防災対策の推進	III 医超高齢化祉時代充実に実応した	2 高齢者福祉と障害者福祉の充実	①高齢者福祉の充実	○生涯現役社会の実現に向けた環境整備 ○高齢者の健康寿命の延伸 ○高齢者が暮らしやすい住まい・まちづくりの推進 ○福祉・介護人材確保・定着対策の推進 ○介護現場の生産性向上の推進や経営の協働化・大規模化 ○高齢者の尊厳を守りながら地域で支え合う仕組みづくりの推進 ○認知症の人や家族などに対する総合的な支援の推進
		②災害に強いまちづくりの推進	○災害に強い社会資本の整備 ○農林水産業における災害対策等の推進			②障害者福祉の充実	○障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現 ○精神障害のある人の地域生活の推進 ○障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進 ○障害のあるこどもの療育支援体制の充実 ○障害のある人の相談支援体制の充実 ○障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実 ○障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実
		③新興感染症等健康危機への対応力強化	○健康危機への対応体制の強化			1 こども・若者施策の充実	①こども・若者の健やかな成長への支援
	2 くらしの安全・安心の確保	①新たな犯罪形態にも対応する犯罪の起こりにくい社会づくりと被害者等支援の充実	○防犯対策の推進 ○地域防犯力の向上 ○犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅 ○高度化・多様化するサイバー事案への対策強化 ○テロの未然防止 ○警察基盤の整備 ○DV・ストーカー防止と被害者支援の充実 ○犯罪被害者等の支援の充実 ○再犯防止対策			②安心して子育てできる環境づくり	○飲酒運転の根絶 ○交通安全管理の充実 ○交通安全環境の整備 ○悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に対する交通指導取締りの強化 ○適正かつ緻密な交通事故事件検査の推進
		②「交通安全県ちば」の確立	○県民総参加でつく交通安全の推進 ○高齢者の交通事故防止対策の推進 ○自転車その他小型モビリティの安全利用の推進 ○交通安全教育の充実			③若者の仲間づくりの促進やライフィベントに応じた支援	○相談・支援体制の充実 ○多様化・複雑化する消費生活に対応した消費者教育の推進 ○悪質事業者対策の強化 ○食の安全と消費者の信頼確保
		③安全・安心な消費生活の確保	○交通指揮取締りの強化 ○適正かつ緻密な交通事故事件検査の推進			2 教育施策の充実	①こどもたちの自信を育む教育の土台づくり
II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備	1 経済の活性化と更なる飛躍	①新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進	○地域の特性に応じた戦略的な企業誘致の推進 ○企業誘致の受け皿となる産業用地整備の推進			②未来を切り拓く「人」の育成	○産業官連携等を通じた新産業の振興 ○スタートアップの育成によるイノベーションの促進 ○豊富な地域資源を生かした産業の振興 ○産業を支える技術の高度化
		②県経済を担う産業の振興と育成	○京葉臨海コンビナートの国際競争力強化とカーボンニュートラルの推進 ○再生可能エネルギー産業等の振興 ○スタートアップの育成によるイノベーションの促進 ○豊富な地域資源を生かした産業の振興 ○産業を支える技術の高度化			③地域全体でこどもを育てる体制づくり	○県内企業の海外取引・輸出の促進 ○MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化
		③成田空港を核とした国際的な産業拠点の形成と地域づくり	○国際的な産業拠点やくらしの受け皿となるエアポートシティの形成 ○成田空港の拡張事業等に伴う様々な波及効果による県経済の活性化 ○成田空港及び周辺地域への交通アクセスの充実・強化 ○成田空港周辺地域の環境対策・地域共生策の推進			④青少年の健全育成	○持続可能な観光地域づくり ○国内観光プロモーションの展開 ○インバウンドの推進
		④観光立県の推進	○観光人材の確保・育成・定着 ○持続可能な観光地域づくり ○国内観光プロモーションの展開 ○インバウンドの推進			1 多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現	○デジタル技術を活用した観光振興
		⑤中小企業・小規模事業者の経営基盤強化	○中小企業・小規模事業者の経営力の向上と持続的な貸上げのための環境づくり ○中小企業等のDXの推進 ○起業・創業の促進 ○事業承継支援 ○商店街の活性化支援			②男女共同参画の推進	○資金調達の円滑化 ○販路開拓の促進 ○中小企業等の人材確保・育成支援
		⑥産業人材の育成と就労支援	○体系的・実践的なキャリア教育等の推進 ○雇用の促進と多様な人材の就労支援 ○多様な働き方の実現に向けた環境の整備			③外国人の活躍・共生と国際交流の推進	○産業界のニーズに応える人材育成
	2 稼げる農林水産業の推進	①次世代を担う人材の確保・育成	○農林漁業者の経営力の向上 ○農林水産業を支える多様な担い手の確保・定着			2 連携・協働による社会づくり	○農林水産業における試験研究の強化
		②農林水産業の成長力の強化	○スマート農林水産業の加速化 ○農地利用の最適化 ○水産資源の管理と維持・増大 ○農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保 ○環境に配慮した農林水産業と高温対策の推進			1 脱炭素化と循環経済の推進	○持続可能な畜産業の実現 ○農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保
		③需要を捉えた販売力の強化と輸出促進	○戦略的な販売促進とブランディングの強化 ○地域資源を活用した需要の創出・拡大 ○新たな販路開拓に向けた輸出促進			2 環境の保全と豊かな自然との共生	○農林水産業における試験研究の強化
		④農林水産業の成長力の強化	○スマート農林水産業の加速化 ○農地利用の最適化 ○水産資源の管理と維持・増大 ○農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保 ○環境に配慮した農林水産業と高温対策の推進			3 野生生物の保護と適正管理	○農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保
3 社会資本の充実とまちづくり	①半島性を克服する交通ネットワークの強化	○ちばの活力を高める公共交通ネットワークの形成 ○時代の変化に応じた地域公共交通の維持・確保とリ・デザインの推進 ○交流を支える道路ネットワークの整備・有効活用	○港湾の整備・振興			3 千葉の魅力の向上と活用	○港湾の整備・振興
	②社会資本の適正な維持管理	○既存施設の適切な維持管理と長寿命化 ○安全で良質な水の安定供給				4 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興	○在宅医療の充実 ○医療機関の役割分担と連携の促進 ○医師・看護職員の確保・定着対策と地域医療格差解消に向けた取組の推進 ○医療分野のデジタル化の推進 ○救急医療体制の整備 ○周産期・小児救急医療体制の整備 ○自治体病院への支援
	③快適で暮らしやすいまちづくりとスマート自治体の実現	○次世代に向けたまちづくりの推進 ○バリアフリー化の推進 ○豊かな住生活の実現	○安全・安心で魅力あふれるまちづくり ○環境・景観に配慮した整備・保全 ○スマート自治体の実現			①文化芸術の振興	○医療機関の役割分担と連携の促進 ○在宅医療の充実 ○医師・看護職員の確保・定着対策と地域医療格差解消に向けた取組の推進 ○医療分野のデジタル化の推進 ○救急医療体制の整備 ○周産期・小児救急医療体制の整備 ○自治体病院への支援
	④生涯を通じた健康づくりと予防医療の推進	○県民主体の健康づくりの推進 ○生活習慣病の発症予防と重症化予防対策の推進 ○こころの健康づくり・ひきこもり対策の推進	○総合的ながん対策の推進 ○総合的な自殺対策の推進			②スポーツの振興	○総合的ながん対策の推進 ○総合的な自殺対策の推進
	⑤医療提供体制の充実と健康寿命の延伸	○医療機関の役割分担と連携の促進 ○医師・看護職員の確保・定着対策と地域医療格差解消に向けた取組の推進 ○医療分野のデジタル化の推進 ○救急医療体制の整備 ○周産期・小児救急医療体制の整備 ○自治体病院への支援				③千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興	○県立病院の経営安定化と機能強化 ○県立保健医療大学の機能強化
IV 高齢化・時代福祉に	⑥生涯を通じた健康づくりと予防医療の推進	○県民主体の健康づくりの推進 ○生活習慣病の発症予防と重症化予防対策の推進 ○こころの健康づくり・ひきこもり対策の推進	○総合的ながん対策の推進 ○総合的な自殺対策の推進			④千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興	○県立保健医療大学の機能強化